I·O DATA

B-MANU201766-01

BRD-S14X 取扱説明書

この度は、「BRD-S14X」(以下、本製品と呼びます。)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に[本書]をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の箱に印刷されております。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。

動作環境の確認

	3D映像再生時※2	ブルーレイディスク/DVD再生、編集、書込時 ※3
対応機種※1	本製品が取付可能なドライブベイ（5インチベイ）とSerial ATAインターフェイス※4を搭載したDOS/V	
対応OS	Windows 7(64/32ビット)	Windows 7(64/32ビット)、 Windows Vista® Service Pack 1以降(32ビットのみ)、 Windows XP Service Pack 3以降
搭載CPU	Intel Core 2 Duo E6400(2.13GHz)以上またはAMD Athlon 64 X2 3800+2.0GHz以上	
メモリー	1GB以上	
グラフィック アクセラレータボード ※5	NVIDIA製 GeForce GT240以降	以下のいずれかのグラフィックアクセラレータボード ・NVIDIA社製GeForce 8400GS以上 ・AMD社製Radeon HD 2400以上 ・Intel GMA X 4500HD(Windows 7/Windows Vistaのみ)
ディスプレイ	120Hz駆動対応ディスプレイ※6 (Nvidia 3Dvision対応)	1024×768ピクセル以上の解像度 (HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクターを搭載)
ハードディスク空き容量	30GB以上 (Blu-ray映像編集時は60GB以上推奨)	
その他	インターネット接続環境	
対応メディア※7	●B D:BD-R※8、BD-RE※8、※9、BD-ROM ●DVD:DVD+R※10、DVD+RW、DVD-R※11、DVD-RW、DVD-RAM※12、DVD-ROM ●C D:CD-R、CD-RW、CD-ROM	

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品検索エンジン「PIO」にてご案内しております。
http://www.iodata.jp/pio/

※2 3D映像の視聴には専用の3D対応メガネ NVIDIA製3D Visionが必要です。

※3 チップセット:i945以上またはAMD780以上が必要です。

※4 ●Intel 915以降のチップセット、ICH6以降を搭載したパソコンに対応しております。
●増設されたSerial ATA接続インターフェイスには対応しておりません。
●本製品にはSerial ATAケーブル及びSerialATA電源ケーブルは添付しておりません。パソコン本体に添付されていない場合は別途ご用意ください。

※5 グラフィックアクセラレータボードは以下の条件を満たしている必要があります。
●PCI-Express接続
●ビデオメモリー256MB以上を搭載
●HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクターを搭載
●COPPに対応している最新のドライバーがインストールされていること
●最新のドライバーがインストールされていること

※6 ディスプレイへの接続はディスプレイ添付のDVIケーブルをお使いください。

※7 ●書き込みは12cmメディアのみ対応しております。
●BD・DVD・CDへの書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※8 3層BD-R/RE、4層BD-Rへのオーサリングには対応しておりません。

※9 カートリッジタイプのBD-REメディアには対応しておりません。

※10 2層DVD+Rメディアにマルチセッションにて書き込みをおこなった場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

※11 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。

※12 カートリッジから取り出し不可能なメディア(TYPE I)および2.6GB/面のメディアには対応しておりません。

製品仕様

インターフェイス仕様	Serial ATA
設置条件	設置方向:水平、垂直(垂直は12cmメディアのみ対応)
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング
書き込みエラー回避機能	搭載
CPRM対応	○(読み込み/書き込み)
電源仕様	DC +5V±5%、+12V±10%
動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
動作湿度	20%～80%（結露なきこと）
外形寸法	146(W)x165(D)x41.3(H)mm (ベゼルを除く)
質量	約750g

使用上のご注意

●本製品はドライブベイ(5インチベイ)搭載タイプです。ドライブベイに空きが無い場合は、あらかじめ搭載済みのドライブを取り外す必要があります。

●取り付け後、フロントパネルが操作可能な機種でご使用いただけます。

●本製品で書込みをおこなったBDメディアは、カートリッジタイプのBD-REメディアを使用するレコーダーでは使用できません。

●BD-R、BD-RE、DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RWメディアで作成したBD・DVDビデオは、既存のプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。

●上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。

●アクセスランプの点灯/点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

●お使いのパソコンによってはBIOS設定が必要です。本製品が認識されない場合は、パソコンのBIOSを確認してください。パソコンのBIOSの設定方法はパソコンの取扱説明書をご覧ください。

●Serial ATAインターフェイスをRAIDモードで設定しないでください。

●本製品を長時間使用した場合は、いったんメディアを取り出し、数分おいてから書き込みをおこなってください。

各部の名称・機能

ご注意

●アクセスランプの点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。

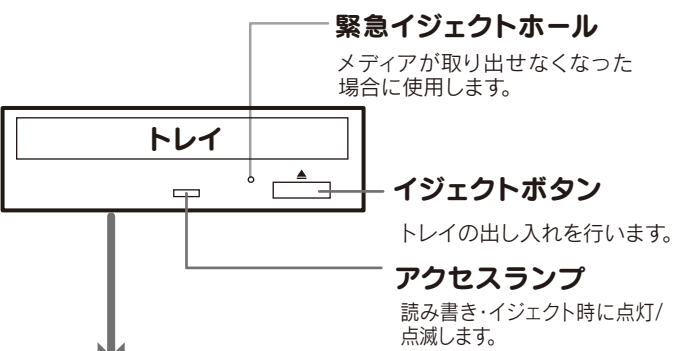
●本製品はクラス1レーザー製品です。
レーザー光線による視力障害の原因となることがありますので、絶対に本製品を分解したり、修理、改造しないでください。

●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。

ドライブ前面

緊急イジェクトホール
メディアが取り出せなくなった場合に使用します。

イジェクトボタン
トレイの出し入れを行います。

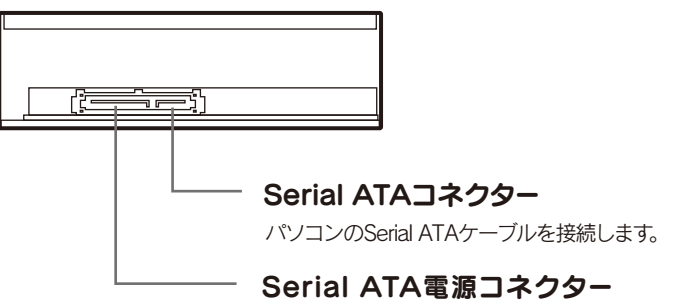
アクセスランプ
読み書き・イジェクト時に点灯/点滅します。

シリアル番号(S/N)をメモします

シリアル番号(S/N)は本製品底面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。(例:ABC1234567XX)
シリアル番号(S/N)を下の枠にメモしてください。

シリアル番号(S/N)は以下の際に必要な場合があります。

ファームウェア等のダウンロード	http://www.iodata.jp/lib/
ユーザー登録	http://www.iodata.jp/regist/

ドライブ背面

Serial ATAコネクター
パソコンのSerial ATAケーブルを接続します。

Serial ATA電源コネクター

接続しよう

① パソコンの電源を切り、パソコンの電源ケーブルをコンセントから抜きます。

② パソコンのルーフカバー、5インチベイのカバーを外し、本製品を取り付けます。
ルーフカバー、5インチベイのカバーについてはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

③ Serial ATA電源ケーブルをつなぎます。

※本製品にはSerial ATA電源ケーブルを添付しておりません。パソコン本体にSerial ATA電源ケーブルがない場合は、別途ご用意ください。

④ Serial ATAケーブルをつなぎます。

※本製品にはSerial ATAケーブルを添付しておりません。パソコン本体にSerial ATAケーブルがない場合は、別途ご用意ください。

ご注意
ケーブルには向きがあります
Serial ATAケーブルの凸部が右側、Serial ATA電源ケーブルの凸部が左側になるように挿入します。
逆向きでは挿し込めないようになっていますが、無理に挿し込もうとすると、コネクターが破損します。
※パソコンによってSerial ATAケーブルの形状が下図と若干異なる場合があります。Serial ATAケーブルであれば仕様は同じですので、凸部の向きにだけご注意いただき、ご使用ください。

ご注意
ケーブルを抜き挿しするときは、ケーブル部分を引っ張らないでコネクターを持って抜き挿ししてください。

⑤ 添付のネジで本製品を固定します。
パソコンによって、ネジ穴の場所や数が異なります。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

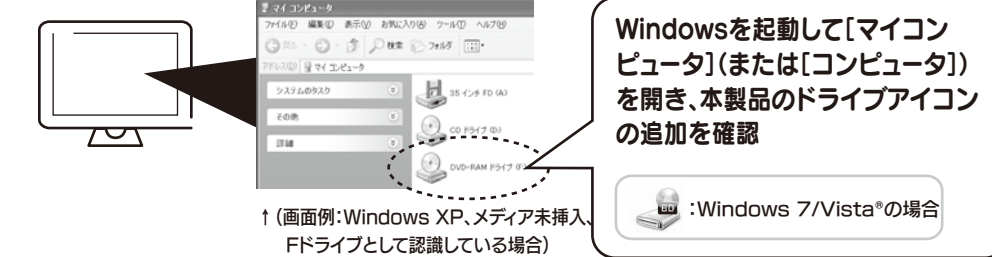
⑥ パソコンのルーフカバーを取り付け、ケーブルや周辺装置を元に戻します。

⑦ 正常に使用できるかを確認します。

↑(画面例:Windows XP、メディア未挿入、Fドライブとして認識している場合)

Windowsを起動して[マイコンピュータ](または[コンピュータ])を開き、本製品のドライブアイコンの追加を確認

:Windows 7/Vista®の場合

ご注意
●ドライブ文字(番号)は環境によって異なります。
●ドライブ名称は挿入されているメディアにより異なります。(例:Windows XPで空のDVD-Rメディアを挿入すると「CD-ROM」と表示されます。)

アイコンが追加されていない場合

●[表示]メニューの[最新の情報に変更]をクリックしてみてください。
●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。
(パソコンの電源を切り、ケーブルを抜き挿ししてください。)
●添付のDVD-ROMに収録されているQ&Aをご覧ください。

アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。
【用途にあわせて添付ソフトウェアをインストールしよう】へお進みください。

用途にあわせて添付ソフトウェアをインストールしよう

用途に応じて添付ソフトウェアを選択します

映像を保存したい	再生したい	データを保存したい		メディアの取り出し忘れを防ぐ
DVD MovieWriter 7 BD Version (Corel)	Corel WinDVD (Corel)	nero 10 Multimedia Suite Essentials (Nero) ランチャー『Nero StartSmart Essentials』	データライティングソフト『Nero Express Essentials』	QuickDrive LE クイックドライブLE (I-O DATA)
ブルーレイディスクに映像ファイルを書き込んだり、DVDビデオを作成する際に使用します。また、デジタルビデオカメラから直接レコーディングする際に使用します。 ※「DVD MovieWriter」は3層BD-R/RE、4層BD-Rには対応しておりません。 ※既にコーレル社製「DVD MovieWriter」がインストールされている場合には、必ずアンインストールしてから本製品添付の「DVD MovieWriter」をインストールしてください。	以下の映像を再生することができます。 ●作成したオリジナルブルーレイディスクやDVDの映像 ●市販のブルーレイディスクの3D映像 ●市販のブルーレイディスクやDVDの映像 ※既にコーレル社製「WinDVD」がインストールされている場合には、必ずアンインストールしてから本製品添付の「WinDVD BD3D」をインストールしてください。	用途を選ぶだけでデータライティングソフト「Nero Express Essentials」を自動的に起動します。	データディスクや音楽CDなどを、このソフトウェア一つで簡単に作成することができます。	パソコンシャットダウン時にメディアの取り出し忘れを防ぐドライブコントロールユーティリティソフトです。 ※本ソフトソフトウェアは製品版QuickDriveの機能限定版です。
		『Nero 10 Essentials Writing Solution』をインストールすると、上記2つのユーティリティがインストールされます。 ※「Nero 10 Essentials Writing Solution」のインストールでは、インストールの途中でパソコンの再起動が必要となる場合があります。この場合、再起動後もインストール作業は続行されますので、ご注意下さい。		

用途に応じて選択した添付ソフトウェアをインストールします

① 添付のDVD-ROMを本製品に挿入します。
※ Windows 7/Vista®でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[はい]([許可])をクリックしてください。

② メニューが表示されたら[インストールする]をクリックします。

③ インストールしたいソフトをクリックします。

④ 画面の指示にしたがって、インストールします。インストール中にそれぞれのシリアル番号/CD-Keyが自動的に入力されますので、あらためて入力しなおす必要はありません。

●添付ソフトウェアのシリアル番号
WinDVD BD3D :
DVD MovieWriter :
Nero 10 Essentials Writing Solution :
※インストール時には異なる 番号が自動的に入力されますが、問題ありません。

⑤ インストール終了後、メニュー画面を終了するには[EXIT]ボタンをクリックします。再起動をうながす画面が表示された場合は、再起動してください。

以上でインストールは完了です。本紙裏面にソフトウェアの注意事項や、簡単な使用例を紹介しております。
詳しい操作については『画面で見るマニュアル』をご参照ください。

AACSキーについて

ブルーレイディスクやAVCRECでは著作権保護されたコンテンツを録画・編集・再生するために著作権保護技術『AACS』を採用しています。ブルーレイディスクやAVCRECを継続的にお使いいただくために、定期的に『AACSキー』を更新してください。
『AACSキー』は再生ソフトウェアからのメッセージにしたがい更新します。(インターネット接続環境が必要です。)
更新しない場合には、著作権保護されたコンテンツの再生ができなくなる可能性があります。(著作権保護されていないコンテンツの再生は可能です。)

今後、AACSキーの提供についての情報は、当社サポートページにてお知らせいたします。
http://iodata.jp/support/

画面で見るマニュアルの開き方

② 表示されたメニューより［画面で見るマニュアルを読む］をクリック

ブルーレイディスクを再生しよう

CPRM技術で録画されたDVDを初めて再生するには…

認証手続きが必要です。
詳しくは本製品の「画面で見るマニュアル」内、【Blu-ray/DVDビデオを再生しよう】をご覧ください。(添付DVD-ROMのメニューより[画面で見るマニュアルを読む]をクリックし、起動します。)

Nero Express Essentialsを使用する際のご注意

●本製品以外での使用は保証できません。また、本製品で他のライティングソフトウェアを使用して万一障害が発生した場合は弊社ではサポートいたしかねます。ご使用のライティングソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

●省電力機能を無効(オフ)にしてください。無効(オフ)にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。

●マルチセッション・マルチボーダー(セッション単位でデータを追記することです。)記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、「Nero Express」を起動し、「拡張メニュー」の[ディスク情報]から使用済み容量をご確認ください。
エクスプローラの[ファイル]メニューの[プロパティ]を選択すると表示される"使用領域"ではOSの仕様により最後のセッションの容量しか表示されません。

●2層DVD±Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

●一度でも書き込みに失敗したBD-R/DVD+R/-R/CD-Rメディアは使用しないでください。正常に動作しない場合があります。また、書き込みに失敗したBD-RE/DVD+RW/-RW/-RAM/CD-RWメディアは「Nero Express」を使用して、いったんデータを消去した後にご利用ください。なお、書き込みに失敗したメディアの保証はいたしておりません。

●BD-RE/DVD+RW/-RW/-RAM、CD-RWメディアの消去(初期化)は書き込みを行ったライティングソフトウェアを使用してください。

●ハードディスクにいったんデータを書き込んでから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスク上に必要です。

●「Nero Express」が対応していないDVD/CDドライブの場合は、読み込み元ドライブ(コピー元)としてご利用いただくことができません。
本製品を読み込み元ドライブとしてご利用ください。　※本製品添付DVD-ROMに収録されているソフトウェアは本製品にのみ対応しております。

●音楽データを書き込んだCD-R/RWメディアを再生するには、再生するCDプレーヤーがCD-R/RWメディアに対応している必要があります。

WinDVD BD3Dを使用する際のご注意

●本製品のDVDのリージョンコードは、出荷時状態で「2」に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、動作の保証を致しかねます。

●以下の場合にインターネット接続環境が必要です。
・WinDVDインストール時のソフトウェア有効化手続きの際
・CPRM技術で録画されたDVDメディアをWinDVDを使って再生する場合※

●Windows Vista®およびWindows XP環境でCPRM技術で録画されたDVDメディアを再生する場合※は、以下の環境を満たしている必要があります。

≪グラフィックアクセラレータボード≫
・PCI-Express接続
・最新のドライバがインストールされていること
・HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクターを搭載

≪ディスプレイ≫
・HDCPに対応したDVIもしくはHDMIコネクターを搭載

※操作手順については本製品の「画面で見るマニュアル」をご覧ください。

困ったときには

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。 また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

DVD MovieWriter® 7 BD Version で困ったら…

1. **ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。**
   [スタート]メニューの
   [Corel DVD MovieWriter 7]から開きます。
2. **ホームページでサポート情報を見る。**
   http://www.corel.jp/support/

それでも解決しなかったら

3. **サポートに問い合わせる。**

コーレル株式会社
ユーリード テクニカルサポート
TEL 03-3544-8154
受付時間… 10:00～12:00/13:30～17:30
月～金曜日(土日祝祭日ならびにコーレル社指定休業日を除く)
※お問い合わせの際にシリアル番号が必要な場合があります。
シリアル番号は、別紙「セットアップガイド」表面の[用途に応じて添付ソフトウェアをインストールしよう]→[添付ソフトウェアを選択します]→[シリアル番号]にてご確認をお願い致します。
http://www.corel.jp/support/
●E-Mail:上記URLに掲載されている専用のメールフォームにてお問い合わせください。

Corel WinDVD で困ったら…

1. **ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。**
   各ソフトウェアを起動し、ヘルプ起動します。
2. **ホームページでサポート情報を見る。**
   http://www.corel.jp/support/

それでも解決しなかったら

3. **サポートに問い合わせる。**

コーレル株式会社
インタービデオ テクニカルサポート
TEL 03-3544-8179
FAX 03-3544-8175
受付時間… 10:00～12:00/13:30～17:30
月～金曜日(土日祝祭日ならびにコーレル社指定休業日を除く)
※お問い合わせの際にシリアル番号が必要な場合があります。
シリアル番号は、[用途に応じて添付ソフトウェアをインストールしよう]の[添付ソフトウェアのシリアル番号]にてご確認ください。
http://www.corel.jp/support/
●E-Mail:上記URLに掲載されている専用のメールフォームにお問い合わせください。

nero 10 Multimedia Suite Essentials で困ったら…

1. **ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。**
   [スタート]→[Nero 10]→[マニュアル]から起動します。
2. **ホームページでサポート情報を見る。**
   http://www.nero.com/jpn/support.html

それでも解決しなかったら

3. **サポートに問い合わせる。**

株式会社Nero
TEL 045-910-0255
受付時間… 10:00～12:30/13:30～17:00
月～金曜日(土日祝、特定休業日は除く)
※お問い合わせの際にシリアル番号が必要な場合は、[用途に応じて添付ソフトウェアをインストールしよう]の[添付ソフトウェアのシリアル番号]にてご確認ください。
http://www.nero.com/jpn/support.html
●E-Mail:上記URLに掲載されている専用のメールフォームにてお問い合わせください。

ブルーレイドライブ本体 や QuickDrive LE で困ったら…

1. **添付のDVD-ROMに収録されている画面で見るマニュアルのQ&Aを確認する。**
2. **ホームページでサポート情報を見る。**
   ●製品Q&A、Newsなど
   http://www.iodata.jp/support/
   ●最新サポートソフト
   http://www.iodata.jp/lib/

それでも解決しなかったら

3. **サポートに問い合わせる。**

株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター
TEL 050-3116-3020
※受付時間　9：00～17：00　月～金曜日（祝祭日をのぞく）
FAX 076-260-3360
インターネット：
http://www.iodata.jp/support/

修理について

修理をご依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

ハードウェア保証書
メモ
本製品

●氏名　●住所　●電話番号
●FAX 番号　●メールアドレス　●症状

※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷してご利用いただくと便利です。

梱包は厳重に!
弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

紛失をさける為 **宅配便・書留ゆうパック** でお送りください。

〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。(見積無料)
金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
●お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
●保証内容については、保証規定に記載されています。
●修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは… **http://www.iodata.jp/support/after/**

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) お客様が録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
6) 著作権を侵害するデータを受信して行うデジタル方式の録画・録音を、その事実を知りながら行うことは著作権法違反となります。
7) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【本製品の廃棄について】
本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/